

- O., Kohno, S. : Retention force of thin RPD Co-Cr wire clasps. 50th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Sendai, Japan, Nov 30, 2002, Program and Abstracts of Papers, 117, 2002.
- 7) Stegaroiu, R., Khraisat, A., Nomura, S., Miyakawa, O. : Prosthesis Material Influence on Strain around a Dynamic Loaded Implant. 50th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Sendai, Japan, Dec 1, 2002, Program and Abstracts of Papers, 109, 2002.
- 8) Hossain, M.A., 大川成剛, 中野周二, 小林正義, 宮川修 : Surface Composition and Structure of Titanium Polished with Silica Sol and Chromic Oxide, 第39回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 2002. 4.13, 歯科材料・器械, 21 (Spec Iss 39): 58, 2002.
- 9) Gapido, C.G., Kobayashi, H., Miyakawa, O., Nakano, S., Okawa, S., Kohno, S. : Incidence of Fatigue Failure in Cast 0.8 mm Occlusal Rests, 平成14年度(第35回)新潟歯学会総会, 新潟, 2002. 4.20, 新潟歯学会雑誌, 32(1): 118, 2002.
- 10) 渡辺孝一, 小林正義 : 粉塵肺疾患診断に利用されたX線マイクロアナライザー組織切片元素分析例, 第13回日本微量元素学会, 木更津(千葉), 2002. 7. 5, 第13回日本微量元素学会プログラム・抄録集, 113, 2002.
- 11) 熊倉喜久夫, 金谷 貢, 野村章子, 中野周二, 野村修一, 宮川 修, 河野正司 : 0.7mm 以下の細いCo-Cr合金線を使用したクラスプの維持力 - 上顎中切歯 1 歯欠損に対応する可撤性義歯への応用に関して -, 平成14年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2002. 7.13, 新潟歯学会雑誌, 32(2): 335, 2002.
- 12) 大川成剛, 中野周二, 渡辺孝一, 金谷 貢, Hossain, M.A., 宮川 修, 小林正義 : チタンのケミカルメカニカルポリッシング - 研磨圧とスラリーpHの研磨面性状への影響 -, 第40回日本歯科理工学会学術講演会, 塩尻, 2002. 9. 1, 歯科材料・器械, 21 (Spec Iss 40): 105, 2002.
- 13) 渡辺孝一, 本間ヒロ, 大川成剛, 金谷 貢, 中野周二, 小林正義, 宮川 修 : 遠心鑄造によるTi-6Al-7Nbのマクロ偏析, 第40回日本歯科理工学会学術講演会, 塩尻, 2002. 9. 1, 歯科材料・器械, 21 (Spec Iss 40): 110, 2002.
- 14) Khraisat, A., Hashimoto, A., Nomura, S., Miyakawa, O. : The Effect of Lateral Cyclic Loading Condition and Time on Abutment Screw Loosening of External Hex Implant. 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2002.11. 9, 新潟歯学会雑誌, 32(2): 349, 2002.
- 15) 大川成剛, 中野周二, 渡辺孝一, 金谷 貢, Hossain M.A., 宮川 修, 小林正義 : チタンのケミカルメカニカルポリッシング - 酸化剤を添加したスラリーの研磨面性状への影響 -, 第16回歯科チタン学会, 京都, 2003. 2. 8, チタンと歯科臨床, 1(1): 46, 2003.

口腔保健推進学分野

【論文】

- 1) N. Amarasena, A.N.I. Ekanayaka, L. Herath and H. Miyazaki : Tobacco use and oral hygiene as risk indicators for periodontitis, Community Dent. Oral Epidemiol., 30, 115-123, 2002.
- 2) B. Priyono, N.W. Sriyono, M. Yagi and H. Miyazaki : Factors associated with dental treatment anxiety among elementary schoolchildren in Indonesia, J. Dent. Hlth, 52, 135-140, 2002.
- 3) T. Murata, T. Yamaga, T. Iida, H. Miyazaki and K. Yaegaki : Classification and examination of halitosis. Int. Dent. J., 52, 181-186, 2002.
- 4) J.M. Coil, K. Yaegaki, T. Matsuo and H. Miyazaki : Treatment needs (TN) and practical remedies for halitosis. Int. Dent. J., 52, 187-191, 2002.
- 5) K. Yaegaki, J.M. Coil, T. Kamemizu and H. Miyazaki : Tongue brushing and mouth rinsing as basic treatment measures for halitosis. Int. Dent. J., 52, 192-196, 2002.
- 6) T. Yamaga, A. Yoshihara, Y. Ando, Y. Yoshitake, Y. Kimura, M. Shimada, M. Nishimuta and H. Miyazaki : Relationship between dental occlusion and physical fitness in an elderly population, J. Gerontol. A Biol Sci Med Sci 57 : M616-M620, 2002.
- 7) H. Ogawa, A. Yoshihara, T. Hiroto, Y. Ando, and H. Miyazaki : Risk factors for periodontal disease progression among elderly people, J. Clin. Periodontol., 29, 592-597, 2002.
- 8) T. Hiroto, A. Yoshihara, Y. Ando and H. Miyazaki : Longitudinal study on periodontal conditions in healthy elderly people in Japan, Community Dent. Oral Epidemiol., 30, 409-417, 2002.
- 9) A. Yano, N. Kaneko, H. Ida, T. Yamaguchi and N. Hanada : Real-time PCR for quantification of Streptococcus mutans, FEMS Microbiol. Lett., 217, 23-30, 2002.
- 10) M. Hanada, H. Koda, K. Onaga, K. Tanaka, T.

- Okabayashi, T. Itoh and H. Miyazaki : Portable oral malodour analyzer using a highly sensitive In_2O_3 gas sensor combined with a simple gas chromatography system, *Analytica Chimica Acta*, 475, 27-35, 2003.
- 11) A. Yoshihara, N. Hanada and H. Miyazaki : The relationship between root caries prevalence and albumin, *J. Dent. Res.*, 82, 218-222, 2003.
- 12) 村田貴俊, 藤山友紀, アントラハルジオー, 尾花典隆, 宮崎秀夫: 0.1%塩化亜鉛洗口剤の口臭抑制効果, *口腔衛生会誌*, 52, 190-195, 2002.
- 13) 清田義和, 葭原明弘, 安藤雄一, 宮崎秀夫: 70歳高齢者の歯の喪失リスク要因に関する研究, *口腔衛生会誌*, 52, 663-671, 2002.
- 14) 八木 稔, L.F. Flores, E.V. Cruz, 宮崎秀夫, 星野悦郎: フィリピン共和国の一地域における小学校1年生のう蝕有病状況と地域ベースの包括的なう蝕抑制プログラム開発の必要性, *新潟歯学会誌*, 32, 291-294, 2002.
- 15) 朝日籐寿一, 寺田員人, 小野和宏, 八木 稔, 小林正治, 飯田明彦, 野村章子, 佐藤孝弘, 吉羽永子, 田井秀明, 石井一裕, 田口 洋, 小林富貴子, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 高木律男, 花田晃治: 新潟大学歯学部附属病院口蓋裂診療班登録患者の動向によるチームアプローチの評価について, *日口蓋誌*, 27, 297-305, 2002.
- 16) 神森秀樹, 葭原明弘, 安藤雄一, 宮崎秀夫: 健常高齢者における咀嚼能力が栄養摂取に及ぼす影響, *口腔衛生会誌*, 53, 13-22, 2003.
- におけるう蝕の予防とコントロールのためのフッ化物応用に関する推奨 (米国国立疾病管理予防センター, 監訳: 荒川浩久, 田浦勝彦), *口腔保健協会*, 東京, 16-24頁, 2002.
- 6) 佐久間汐子: フッ化物の供給源とその影響, 米国におけるう蝕の予防とコントロールのためのフッ化物応用に関する推奨 (米国国立疾病管理予防センター, 監訳: 荒川浩久, 田浦勝彦), *口腔保健協会*, 東京, 24-29頁, 34-37頁, 2002.
- 7) 八木 稔: 第3章 フッ化物局所応用の方法と評価 1) フッ化物歯面塗布, *ガイドブック 21世紀の歯科医師と歯科衛生士のためのフッ化物臨床応用のサイエンス* (監修: 高江洲義矩, 編著: 中垣晴男, 眞木吉信), 永末書店, 京都, 29-34頁, 2002.
- 8) 荒川浩久, 八木 稔, 可児徳子: 第7章 ライフステージにおけるフッ化物応用プログラム 1) う蝕リスクとフッ化物応用, *ガイドブック 21世紀の歯科医師と歯科衛生士のためのフッ化物臨床応用のサイエンス* (監修: 高江洲義矩, 編著: 中垣晴男, 眞木吉信), 永末書店, 京都, 92-99頁, 2002.
- 9) 八木 稔: 2 新潟県の事例, う蝕予防のためのフッ化物洗口実施マニュアル (フッ化物応用研究会編), *社会保険研究所*, 東京, 54-59頁, 2002.
- 10) 金子 昇, 野村義明, 花田信弘: 8-3 EBMからみたう蝕の感染症としてのとらえ方. EBMをめざした歯科医療 [診断能力を向上させ, 治療の確実性を高めるために] (鴨井久一, 吉田直人, 花田信弘 編), 永末書店, 京都, 93-102頁, 2002.

【著書】

- 1) H. Miyazaki : Oral health needs in an aging society; In *Good oral health in aging society, Filling the gap between dental health and life expectancy*, World Health Organization, Geneva, 26-34, 2002.
- 2) 葭原明弘, 宮崎秀夫: 13章口腔保健行動, 保健医療におけるコミュニケーション・行動科学 (高江洲義矩編), 医歯薬出版, 東京, 179-186頁, 2002.
- 3) 八木 稔: 1. フッ化物歯面塗布, 用語解説, フッ化物ではじめるむし歯予防 (日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編), 医歯薬出版, 東京, 3-12頁, 111-113頁, 2002.
- 4) 佐久間汐子: 3. フッ化物配合歯磨剤の利用, フッ化物ではじめるむし歯予防 (日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編), 医歯薬出版, 東京, 29-36頁, 2002.
- 5) 八木 稔: VI. フッ化物の供給源とその影響, 米国
- 1) 廣富敏伸, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 健常高齢者の歯周組織健康状態およびその経年変化に関する研究 (学位研究紹介), *新潟歯学会誌*, 32, 17-18, 2002.
- 2) 高野尚子, 宮崎秀夫: 高齢者における根面う蝕の発生要因の研究 (学位研究紹介), *新潟歯学会誌*, 32, 101-102, 2002.
- 3) 山賀孝之, 宮崎秀夫: 高齢者の咬合機能・形態と体力との関係に関する疫学的研究 (学位研究紹介), *新潟歯学会誌*, 32, 105-106, 2002.
- 4) 宮崎秀夫: World topics, 痛みのある顎関節障害のリスクファクター, *衛生士誌*, 26(6), 57, 2002.
- 5) 西川幸枝, 宮崎秀夫: World topics, イングランドとウェールズにおける12歳児のう蝕罹患状況について ~ イギリス口腔衛生学会による2000/01年の調査, *衛生士誌*, 26(10), 51, 2002.
- 6) 佐久間汐子: フッ化物洗口とフィッシャーシーラントの複合プログラム, *デンタルダイヤモンド*, 27(14), 26-31, 2002.

- 7) 山賀孝之, 宮崎秀夫: 口臭は歯周病を悪化させる? 新潟歯学会誌, 32, 309-310, 2002.
- 8) 金子 昇: フッ化物洗口を用いた齲蝕予防がミュータンス連鎖球菌および齲蝕経験に及ぼす影響, 新潟歯学会誌, 32, 325-326, 2002.
- 9) 深井浩一, 葭原明弘, 森山俊次, 堀川敏子, 両角祐子, 廣富敏伸, 宮崎秀夫: 小学校でフロスを教えよう! 小学校におけるデンタルフロスを使用した歯肉炎予防プログラムについて - , 日本歯科評論, 62(2), 131-137, 2002.
- 10) 葭原明弘, 宮崎秀夫: 新潟市高齢者コホート調査(新潟スタディ)からみた歯と全身の健康, 8020(財団法人8020推進財団・会誌), 1(1): 53-56, 2002.
- 11) 片岡照二郎, 葭原明弘, 濃野 要, 峯田和彦, 高德幸男, 河内 博: 8020育成事業における要観察歯への対応の評価, 新歯界, 607: 28-29, 2002.
- 12) 金子 昇, 西川原総生, 武内博朗, 野村義明, 花田信弘: バイオテクノロジーを利用した歯科の臨床研究とその応用5 遺伝子工学的技術2 - マイクロアレイ, DNAチップを利用した診断法 - , デンタルダイヤモンド, 27(7): 48-52, 2002.
- 13) 吉岡節子, 宮崎秀夫: World topics, 乳歯う蝕から永久歯う蝕を予測する: 8年間のコホート研究, 衛生士誌, 27(2), 65, 2003.
- 【研究成果報告書】**
- 1) Akihiro Yoshihara: FcgRIIIB genotypes and smoking for periodontal disease progression in community-dwelling older adults, 新潟大学プロジェクト研究報告書, 2002.
- 2) 山賀孝之: 口腔内揮発性硫化物の歯周疾患進行のプレディクターとしての可能性, 新潟大学プロジェクト研究報告書, 2002.
- 3) 宮崎秀夫: 高齢者の追跡調査, 口腔保健と全身的健康状態の関係について, 12-16, 2002. (平成13年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 4) 宮崎秀夫, 葭原明弘, 杉田典子, 山本幸司, 小林哲夫, 廣富敏伸, 小川祐司, 吉江弘正: 高齢者におけるFcrRIIIB遺伝子多型と喫煙経験が歯周炎の進行に及ぼす影響について, 口腔保健と全身的健康状態の関係について, 17-32, 2002. (平成13年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 5) 宮崎秀夫, 葭原明弘, 花田信弘: 高齢者における血清アルブミン値と根面う蝕との関連について, 口腔保健と全身的健康状態の関係について, 33-49, 2002. (平成13年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 6) 宮崎秀夫, 吉武 裕, 木村靖夫, 田中宏暁, 大橋正春: 歯の健康と体力の関係, 口腔保健と全身的健康状態の関係について, 55-64, 2002. (平成13年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 7) 宮崎秀夫, 田中宏暁, 綾部誠也, 樋口博之, 木村靖夫, 吉武 裕: 高齢者の有酸素性作業能力および日常身体活動量と口腔保健の関係に関する研究, 口腔保健と全身的健康状態の関係について, 65-67, 2002. (平成13年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 8) 宮崎秀夫, 渡邊令子: 高齢者の食事制限と健康状態との関連, 口腔保健と全身的健康状態の関係について, 68-76, 2002. (平成13年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 9) 河野正司, 清田義和, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の咬合に関する追跡調査 - 高齢者の顎機能および身体機能との関連 - , 口腔保健と全身的健康状態の関係について, 77-87, 2002. (平成13年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 10) 安藤雄一, 宮崎秀夫: 70歳高齢者の歯の喪失リスクに関する研究, 口腔保健と全身的健康状態の関係について, 88-102, 2002. (平成13年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 11) 宮崎秀夫, 葭原明弘, 大内章嗣, 藤山友紀, 濃野要, 片岡照二郎: 歯科におけるQOL評価に関する文献的考察「歯科保健水準を系統的に評価するためのシステム構築に関する研究」, 31-128, 2002. (分担: 平成13年度厚生科学研究費補助金 健康科学総合研究事業報告書)
- 12) 染矢源治, 宮崎秀夫, 野村修一, 鈴木一郎: 地域在宅歯科医療総合支援ネットワークシステムの構築, 平成11年度12年度文部省科学研究費補助金 地域連携推進研究費(2Y11794024), 2002.
- 13) 安藤雄一, 豊島義博, 筒井昭仁, 宮崎秀夫: Project-3 フロリデーシオン(水道水フッ化物添加)に関するシステムティックレビューの検討, 平成14年度厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業報告書, 2003.
- 14) 安藤雄一, 宮崎秀夫, 長田 斉: 歯科保健水準を系統的に評価するためのシステム構築に関する研究, 平成14年度厚生労働科学研究費補助金, 健康科学総合研究事業報告書(H13-健康-005), 2003.
- 15) 安藤雄一, 宮崎秀夫, 高德幸男, 葭原明弘: 市町村における歯科保健計画策定の支援を目的としたモデル調査事業の報告, 平成14年度厚生労働科学研究費補助金, 健康科学総合研究事業報告書, 2003.
- 16) 宮崎秀夫: 高齢者のヘルスプロモーションを推進する口腔保健支援システムの開発, 平成10年度 13年度文部省科学研究費補助金 基盤研究(B)(2)(10557196), 2003.

- 17) 佐久間汐子, 八木 稔, 筒井昭仁, 平田幸夫, 中村宗達: 天然フッ化物地区におけるう蝕有病状況および歯のフッ素症の発現状況(中間報告), 厚生科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業) 歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究平成13年度研究報告書, 90-95頁, 2002.
- 18) 安藤雄一, 高江洲義矩, 荒川浩久, 眞木吉信, 平田幸夫, 筒井昭仁, 飯島洋一, 佐久間汐子, 八木 稔, 深井穂博, 古賀 寛: 幼稚園児・小中学生に対する質問紙調査の結果(予備的解析結果), 厚生科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業) 歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究平成13年度研究報告書, 127-137頁, 2002.
- 19) 安藤雄一, 境 脩, 筒井昭仁, 飯島洋一, 八木 稔: 水道水フッ化物添加に関する住民説明会開催, 厚生科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業) 歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究平成13年度研究報告書, 138-141頁, 2002.
- 20) 川口陽子, 宮崎秀夫: う蝕予防に関する一般向けの健康情報に関する研究 韓国の新聞記事に関する分析, 厚生科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業) 歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究(平成13年度研究報告書 H12-医療-003), 251-256頁, 2002.
- 21) 安藤雄一, 宮崎秀夫, 豊島義博, 古賀 寛: フッ化物洗口による歯科医療費の軽減効果 新潟県のデータを用いた分析, 厚生科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業) 歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究(平成13年度研究報告書 H12-医療-003), 317-323頁, 2002.
- 22) 八木 稔: 2 新潟県の事例, う蝕予防のためのフッ化物洗口実施要領(厚生科学研究「フッ化物応用に関する総合的研究」班 編), 40-45頁, 2002.
- 23) 八木 稔: 5 ライフステージにおけるフッ化物応用プログラム, ガイドブックフッ化物局所応用とそのサイエンス2002(厚生科学研究(医療技術評価総合研究事業), 歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究, 60-63頁, 2002.
- 24) 葎原明弘, 深井浩一, 両角祐子, 廣富敏伸, 宮崎秀夫: 小学校におけるデンタルフロスをを用いた保健指導による歯肉炎の改善, 新潟県平成13年度委託研究「歯肉炎の保健指導に関する調査」報告書, 2003.
- 25) 金子 昇: ミュータンスレンサ球菌の齶蝕原性の違いが齶蝕に及ぼす影響, 富徳会2002年事業報告書, 2003.
- 26) 宮崎秀夫: 地域における園児・小中学生の歯科疾患の予防, 弥彦村調査委託研究報告書, 2003.
- 【講演・シンポジウム】
- 1) S. Warrnakulasuriya and H. Miyazaki: Analytical aspects of betel quid and its carcinogenicity. In Symposium on "Betel quid and oral health". 11th Biennial Meeting of the International Association of Oral Pathologists(IAOP)(Singapore) August 5-8, 2002.
- 2) H. Miyazaki: Relationship between occlusal condition and physical disability in elderly people, In Symposium on "Effects of Mastication on General Health and Promotion". 1st International Congress on Mastication and Health, Yokohama, September 15-18, 2002.
- 3) 宮崎秀夫: 口臭症の診断と治療を通してこれからの歯科医療を考える, 九州歯科大学同窓会中国地区連合会総会, 岡山県, 2002年5月11日
- 4) 八木 稔: 水道水フッ素化と地域保健, 子供の歯を守る会総会シンポジウム, 新潟市, 2002年5月11日
- 5) 八木 稔: 無煙の健康学, 新潟県看護協会長岡地区協会通常総会, 長岡市, 2002年6月5日
- 6) 葎原明弘: 平成14年度第1回都市歯科医師会・健康福祉(環境)事務所関係者連絡協議会文科会「都市歯科医師会・保健福祉(環境)事務所・市町村の連携(新潟県歯科医師会館), 2002年6月13日
- 7) 宮崎秀夫: 口臭患者の治療法, 心身症学会シンポジウム, 東京, 2002年7月6日
- 8) 佐久間汐子: 生涯を通じた歯科保健対策, 新潟市町村歯科保健担当者等研修会, 新潟市, 2002年7月11日
- 9) 八木 稔: 口腔健康と全身の健康, 平成14年度歯科保健短期実務者研修会(市町村歯科保健担当者等研修会), 新潟市, 2002年7月11日
- 10) 葎原明弘: 平成14年度新採用養護教諭研修の講義「歯周疾患の予防」, 新潟県西蒲原郡 県立青少年研修センター, 2002年8月7日
- 11) 宮崎秀夫: 歯周病医療から健康科学への貢献とその展望「疫学の立場から」, 日本学術会議シンポジウム, 東京, 2002年9月27日
- 12) 佐久間汐子: COについて, 北蒲原郡豊栄市歯科医師会学校保健研修会, 新潟市, 2002年10月19日
- 13) 佐久間汐子: フッ化物応用の基礎知識, 日本むし歯予防フッ素推進会議全国大会, 東京, 2002年11月17日
- 14) 葎原明弘: 平成14年度「地域保健関係職員研修」講義「みなさんとすすめる歯科保健活動」, 群馬県安中市 安中市保健センター, 2002年12月3日
- 15) 山賀孝之: 口臭について, 学校歯科保健研修会, 新発田市, 2002年12月5日

- 16) 佐久間汐子：学校歯科健診におけるCO診断とその事後処置について，新潟市園・学校歯科医研修会，新潟市，2003年3月6日
- 17) 葎原明弘：第3次新潟県歯科保健医療総合計画 ヘルシースマイル21講演「市町村歯科保健計画と成人歯科保健対策」，上越市 上越テクノス，2003年3月7日

【学会発表】

- 1) A. Rahardjo, T. Murata, T. Yamaga, M. Hanada and H. Miyazaki: Availability of newly developed compact and simple Gas Chromatography for diagnosis of oral malodor, 2nd FDI-Indonesian Dental Association(IDA)Joint Meeting, September 20-22, 2002.
- 2) 金子 昇, 泉福英信, 宮崎秀夫, 花田信弘: 高齢者血漿における抗Pacペプチド(361-386) IgG抗体と齲蝕経験との関連性, 第75回日本細菌学会総会, 横浜市, 2002年4月4-6日
- 3) 村田貴俊, 藤山友紀, 山賀孝之, 宮崎秀夫: 呼吸器炎症治療薬による口臭発生, 呼吸病態生化学研究会, 大阪市, 2002年7月6日
- 4) 藤山友紀, 村田貴俊, ラハルジョー・アントン, 尾花典隆, 宮崎秀夫: 亜鉛含嗽剤の口臭抑制効果, 呼吸病態生化学研究会, 大阪市, 2002年7月6日
- 5) 花田真理子, 伊藤 猛, 村田貴俊, ラハルジョー・アントン, 藤山友紀, 山賀孝之, 宮崎秀夫: 簡易型ガスクロによる口臭検査器の開発とその有用性, 呼吸病態生化学研究会, 大阪市, 2002年7月6日
- 6) 安藤栄吾, 河野正司, 澤田宏二, 関本智信, 八木 稔: 訪問歯科診療によるADLとQOLの改善に関する調査研究, 平成14年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2002年7月13日
- 7) 片岡照二郎, 葎原明弘, 濃野 要, 峯田和彦, 高德幸男, 河内 博, 宮崎秀夫: 8020育成事業における要観察歯への対応の評価, 第13回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会(口腔衛生会誌53: 73, 2003), 板倉町, 2002年7月27-28日
- 8) 安達尚美, 長岡真美, 峯田和彦, 葎原明弘: 歯間部清掃用具使用促進の効果的な進め方について, 第13回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会(口腔衛生会誌53: 74, 2003), 板倉町, 2002年7月27-28日
- 9) 清田義和, 石上和男, 永瀬吉彦, 峯田和彦, 高德幸男, 宮崎秀夫: 80歳高齢者の口腔健康状態と医療費との関連, 第13回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会(口腔衛生会誌53: 74, 2003), 板倉町, 2002年7月27-28日
- 10) 澤田宏二, 河野正司, 安藤栄吾, 八木 稔, 河内博, 幾野 博, 佐藤 徹: 訪問歯科診療による高齢者のADL, QOL改善に関する調査, 日本補綴歯科学会関越支部, 新潟市, 2002年8月4日
- 11) 小林清吾, 木村年秀, 中村宗達, 八木 稔, 佐久間汐子, 田口千恵子: フロリデーシオン実現のための学術支援整備, 第51回日本口腔衛生学会・総会(自由集会)(口腔衛生会誌, 57, 267, 2002) 2002年9月12-14日
- 12) 宮崎秀夫: 口腔保健のための総合的検査項目の検討—歯科医療における臨床検査の使い方—, 第51回日本口腔衛生学会総会(自由集会)(口腔衛生会誌52: 269, 2002), 大阪市, 2002年9月12-14日
- 13) 八木 稔, 佐久間汐子, 佐藤雅子, 宮崎秀夫: 高校生および成人におけるフッ化物配合歯磨剤の使用状況, 第51回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌52: 298-299, 2002), 大阪市, 2002年9月12-14日
- 14) 佐久間汐子, 八木 稔, 濃野 要, 筒井昭仁, 晴佐久 悟, 平田幸夫, 宮崎秀夫: 天然フッ化物地区在住の中学生におけるう蝕有病状況および歯のフッ素症の発現状況,(口腔衛生会誌52: 304-305, 2002), 大阪市, 2002年9月12-14日
- 15) 一瀬 明, 八木 稔, 山内浩央, 武井啓一, 金山公彦: 歯科医師のフッ化物応用に関する意識調査, 第51回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌52: 314-315, 2002), 大阪市, 2002年9月12-14日
- 16) 葎原明弘, 深井浩一, 両角祐子, 廣富敏伸, 宮崎秀夫: 小学校におけるデンタルフロスを用いた保健指導による歯肉炎の改善-18ヶ月後の評価, 第51回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌52: 394-395, 2002), 大阪市, 2002年9月12-14日
- 17) 金子 昇, 泉福英信, 花田信弘, 宮崎秀夫: 80歳高齢者における血漿中抗Pac(361-386)抗体価とDMFTとの関連, 第51回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌52: 450-451, 2002), 大阪市, 2002年9月12-14日
- 18) 筒井昭仁, 八木 稔: 自治体の水道水フッ化物濃度適正化(フロリデーシオン)の支援第1報: わが国における至適フッ化物濃度の検討, 第61回日本公衆衛生学会総会(日本公衛誌, 49: 530, 2002), さいたま市, 2002年10月25日
- 19) N. Amarasena and H. Miyazaki: Tobacco use and oral hygiene as risk indicators for periodontitis, 平成14年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2002年11月9日

【その他】

- 1) 宮崎秀夫: テレビ新潟「旬感工房: いい歯の日」, 2002年11月8日